

若手優秀発表賞の推薦用紙(選考要領, 受賞対象者リスト, アンケート付)

記入完了後、この用紙を大会受付(1号館2F通路)の投票箱へ入れてください。 投票締切: 14日20時45分

日本海洋学会2016年度秋季大会実行委員会

発表日時	会場	発表ID	タイトル	発表者(受賞対象者)	聴講の有無
日	時				○(聴講)
口頭発表: 51件					
12	10:25	1	I10-06	海洋長期再解析における日本海の流量-貯熱量の長期変動について	広瀬成章(気象研)
12	10:40	1	I10-07	FORA-WNP30から見た豊後水道における異常水温の発生	山田彩加(愛媛大院)
12	9:05	2	I11-01	空撮画像を用いた広域海岸漂着ゴミの定量的評価	片岡智哉(東京理科大)
12	9:55	2	I11-04	実海域で採取されたマイクロプラスチックの劣化度マッピングの試み	松永奈々(九大院)
12	11:35	2	P06-04	枕崎湾におけるあびき現象の発生機構 - 沖合陸棚上での振幅増幅過程に関する考察 -	福澤克俊(東大院)
12	10:40	3	I06-07	1次元混合層モデルを用いたインド洋ダイポールモード現象に伴う塩分偏差の影響に関する研究	木戸晶一郎(東大院)
12	11:45	3	I05-03	Response of SST in the Sea of Japan on the Winter Cyclones	趙寧(九大院総理工)
12	14:35	1	I09-03	船舶搭載用コンパクト海洋モデルの構築とウェザールーティングへの応用	黒澤賢太(神戸大院)
12	16:15	1	I19-02	高分解能海流モデルの計算結果を用いた海流発電の適地について	小牧裕幸(鹿大)
12	14:55	2	I07-04	洪水時河川影響海域において物理・物質循環相互作用は起こり得るか	干場康博(東大大気海洋研)
12	16:25	2	I07-10	亜寒帯沿岸域の底層における硝化活性に与える堆積物の影響	渡部友日(北大院)
12	17:10	2	I07-13	日本海深層の底層フロントを起源とした内部慣性重力波	伊藤海彦(北大水産)
12	14:15	3	I05-05	高解像度海面水温データを与えた全球大気再解析JRA55追加プロダクト(2)	升永竜介(東大先端研)
12	15:30	3	I05-10	CMIP5モデルでの北太平洋の領域海面高度将来変化と海洋内部および外力変化	寺田美緒(北大院)
12	16:35	3	I14-03	Argoフロートを用いて検出したサブメソスケール擾乱の分布特性とその要因	伊藤大樹(東北大院理)
12	16:50	3	I14-04	サブメソスケール渦がモード水の形成に果たす役割	田中裕介(京大院理/JAMSTEC)
12	17:05	3	I14-05	1/30度サブメソスケール許容モデルと1/10度渦解像モデルにおける北太平洋の栄養塩輸送と生物生産	畑嶋良亮(北大院)
12	17:35	3	I14-07	沖繩本島周辺海域におけるメソスケール渦の消長とそれに伴う黒潮逆流の季節変動について	小谷達千花(神戸大院)
12	17:50	3	I14-08	マダガスカル島南方における中規模渦の特性と変動	山上遥航(東大院)
13	10:25	1	B01-06	安定同位体地図から見た太平洋漂流区食物網の窒素供給過程	堀井幸子(東大院農学生命)
13	10:40	1	B01-07	炭素および窒素安定同位体比からみた伊豆諸島産キンメダイの栄養動態	権田夏月(東大院農学生命)
13	11:45	1	I01-03	西部北太平洋亜熱帯域における溶存リンの季節変化	羽住彩花(海洋大院)
13	9:25	2	P05-02	統計流体力学に基づく潮汐混合パラメタリゼーションの試み	大貫陽平(東大院)
13	10:10	2	P05-05	熱フラックスの日周変動が海面加熱期の混合層深度に与える影響 - 緯度依存性に着目して -	牛島悠介(京大院)
13	11:35	3	I21-03	海産珪藻による放射性セシウムの取り込み	貫井郁(海洋大)
13	14:00	1	I01-05	浮遊性有孔虫各種の光共生性と光合成生理特性	高木悠花(東大大気海洋研)
13	14:30	1	I01-07	北海道浜中町沿岸域の物質循環と霧多布湿原の役割に関する研究: 環境指標としてホッキガイを用いた	巴(北大院環境)
13	16:15	1	C01-02	北太平洋における海水中生物活性微量元素 (Al, Mn, Fe, Co, Ni, Cu, Zn, Cd, Pb)の分布	鄭臨潔(京大院)
13	16:30	1	C01-03	北太平洋における海水中Ni, Cu, Zn濃度および同位体比分布の解明	高野祥太郎(京大化研)
13	14:25	2	P03-02	夏季の沿岸流の調節過程	唐木達郎(北大院環境)
13	16:25	2	P03-10	深水波の直接数値計算: CL2機構によるLangmuir循環	藤原泰(京大院理)
13	14:20	3	P04-02	DREAMSを用いたJ-OFURO3海上風ベクトルデータセットの有用性の検証	寺田雄貴(鹿大院理工)
13	14:35	3	P04-03	OFES結果による亜表層構造の風応力場への依存性と風成駆動流の検証	垣内陽(東海大院)
13	15:05	3	P04-05	太平洋亜熱帯域における表層塩分の構造と変動	桂将太(東大大気海洋研)
14	9:05	2	P02-01	バルーン空撮による沿岸海洋過程の熱赤外リモートセンシング - スタンドアローン化の試み	山本悠真(九大院)
14	9:35	2	P02-03	河川プリュームのバルジ成長率における河口形状に対する依存性	甲原優子(九大院)
14	9:50	2	P02-04	河川プリュームの厚さを決める非静水圧応答について	岩中祐一(九大院総理工)
14	10:05	2	P02-05	Coastal surface geostrophic current velocity observation in the Soya Strait	張偉(北大)
14	10:20	2	P02-06	台風通過に伴う黒潮流路変動および紀伊水道への暖水波及について	多田拓晃(神戸大院)
14	10:50	2	P02-08	豊後水道における外洋水進入現象の数値的研究	久保田祥隆(愛媛大・理工)
14	11:35	2	P02-11	浅海域における海洋レーダを用いた方向スペクトル推定法	片岡智哉(東京理科大)
14	9:20	3	I03-02	サハリンポリニヤにおける過冷却水とフラジルアイスの生成	伊藤優人(北大院環境)
14	10:20	3	I03-06	過剰窒素量指標N2*を用いた北太平洋亜寒帯海域及び南極海域における窒素収支の比較	中野雄登(北大院環境)
14	11:50	3	I03-12	北極海の表層混合層における乱流混合の定量化 - 鉛直熱輸送により形成された混合層直下の水温極大	竹田大樹(東京学芸大院)
14	13:30	1	I02-03	黒潮流軸付近において現場型光散乱・透過率粒子測定計で検出された粒子の鉛直分布と粒子サイズ分布	山田洋輔(東大大気海洋研)
14	15:00	1	I02-09	冬季北部薩南海域表層における仔稚魚の群集組成と分布	橋本謙(鹿大水産)
14	15:15	1	I02-10	宮崎県沿岸に到達する東シナ海産アカアマダイ卵・仔稚魚の輸送過程	石川和雄(東大院)
14	17:50	1	I04-09	北太平洋亜寒帯海域の海洋酸性化に対するオホーツク海の緩衝作用	李勣(北大院環境)
14	15:25	2	I08-08	諫早湾における底質環境の傾度に応じた食物網構造の変化	石松将武(熊本県大院)
14	17:25	2	I12-05	現場と静止海面衛星データを用いた大阪湾における季節内から日変化までの赤潮動態の解析	中村一平(神戸大院海事)
14	13:50	3	I03-14	グリーンランド氷床西部沿岸全域における高湿度海水域の変動	大橋良彦(北大院環境)
ポスター発表: 14件					
12	12:30	122	I07-P2	船舶データを用いた瀬戸内海西部における海面衛星データの精度評価	中川美和(愛媛大院)
12	12:30	122	I07-P4	対馬海峡通過流量の経年変動	武藤玲央(愛媛大院)
12	12:30	124	C01-P1	沿岸域の都市化に伴う東京湾の炭素循環変化	久保篤史(海洋大)
12	12:30	124	I01-P2	河川からの栄養塩流入を仮定した生態系モデルによる2次元パターン形成の研究	黒田雄斗(富山大院)
12	12:30	124	I05-P2	6月の東シナ海における海面水温の経年変動に対する大気応答	山田裕子(北大院)
12	12:30	125	I09-P3	日本周辺の爆弾低気圧に引き起こされる波浪の検証	北祐樹(東大院)
13	12:30	122	I13-P1	北極海カナダ海盆域上層における炭酸カルシウム飽和度の季節変動	長谷川美香(海洋大院)
13	12:30	122	P02-P3	ALOS-2/PALSAR-2衛星画像を用いた波浪の空間挙動の推定 - 日本海側海域の比較解析をもとに -	西村悠希(富山大院)
13	12:30	122	P03-P5	高海面高度の伝播に伴う黒潮流路変動の原因解明II - 風応力場の強さの依存性 -	山田優貴(富山大院)
13	12:30	124	I12-P1	伊勢湾における衛星クロロフィルa濃度の分布パターンとHFレーダで得られた表層流動場の関係	永沼元(名大院環境)
13	12:30	125	I02-P5	2000年代のマサバ資源量に関わる黒潮続流・親潮・混合水域の海洋環境変動	金子仁(水研機構東北水研)
13	12:30	125	I03-P3	ベーリング海峡移流熱がチャクチ海の太陽放射加熱に与える影響	塚田雄志郎(北大院水産)
13	12:30	125	I03-P6	AMSR-Eデータを用いた北極海のメルトポンド検出に関する研究	田中康弘(北見大院)
13	12:30	125	I04-P1	東シナ海男女群島近傍海域における表層の栄養塩動態	湯浅大輔(長大院)

審査員氏名	所属(略記)
-------	--------

口頭発表 被推薦者の発表IDと氏名(3件連記)

発表ID	氏名

ポスター発表 被推薦者の発表IDと氏名(2件連記)

発表ID	氏名

選考方法に対するアンケート(自由記述)

選考要領

日本海洋学会2016年度秋季大会実行委員会(以下、実行委員会)は、若手研究者の研究発表を奨励する一助として、学生会員または若手通常会員による口頭発表およびポスター発表の中から優秀な発表を選考し、日本海洋学会2016年度秋季大会「若手優秀発表賞」(以下、本賞と呼ぶ)を授与する。本賞の被選考対象者は、2016年9月1日時点で博士の学位を未取得または取得後3年未満であることを目安として、研究発表申込時に本賞の審査対象となることにエントリーした学生会員または若手通常会員とする。
受賞者の選考は、大会参加者の中から実行委員会が選出した60~80人の審査員による推薦に基づき、実行委員会が行う。審査員は、以下の要領に従い、受賞対象者を推薦する。

- 本賞の受賞対象者は、口頭発表4件、ポスター発表2件とする。
- 本賞の被選考対象者は、左記のリストに記載されている者とする。
- 審査員は、10件程度の口頭発表と、5件程度のポスター発表を聞き、3件の口頭発表と2件のポスター発表をそれぞれ連記で推薦する。
- 審査員は、以下の5項目に基づき、候補者を推薦するものとする。
 - スライド/ポスターの見やすさ(フォントの大きさ、図の美しさ、レイアウト等)
 - スライド/ポスターのわかりやすさ(論理の構成、論理の展開等)
 - 発表姿勢(説明の仕方や質疑応答への対応等)
 - 研究の達成度・新規性
 - 将来性(今後の展開や可能性が期待されるかどうか)
- 大会終了後、実行委員会は推薦結果を集計し、得票数の多い順に受賞者を決定する。ただし、極端に選定分野が偏ったり、複数の同数得票者が出た場合には、実行委員会内で合議の上、調整する。受賞者が確定した後、受賞者へ賞状を授与するとともに、受賞者および受賞発表題目を学会ホームページ、学会メーリングリスト、学会ニュースレターで公表する。